



この教材は、平成 28 年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成を受け、NPO 教育支援協会北海道が放課後指導者育成のための教材として開発したものです。  
この教材およびデータを、非営利目的の青少年教育活動で使用する場合には、NPO 教育支援協会北海道までご連絡ください。

Lesson4-4

所要時間の目安： 10分～15分

## かるた：音を聴いて単語を当てよう

中学年～高学年向け

### ●このアクティビティの目的

コンビネーションフォニックスの発音と物の名称とを関連づけて覚える。

### ●使用する教材・教具

- ・コンビネーションフォニックスの絵カード

### ●指導のしかた

※T= 先生 Ss= 子どもたち

やりかたは二通りあります。（＊）

- ①同じコンビネーション文字（例えば“ow”）を複数使って、同時に複数のSsがカードを取れるようにする。
- ②コンビネーション文字を各種類1つだけ使って、早い者勝ちにする。

(1) Tは、絵カードをかるたのように床に広げます。

(2) Tは、コンビネーションフォニックスの発音を“ch, ch”などとはっきりいいます。

(3) Ssは“ch”のついた単語をみつけて、“cherry”などといいながらとります。

### ●このアクティビティができるタイミング

コンビネーションフォニックスのつづりが完全に読めなくても、音を聴いて単語が推測できる段階でできるゲームです。

### ●指導のポイント・留意点

絵カードを取るときは、かならず単語の名前をはっきり言うように指導しましょう。

（＊）全員で行う場合、②のやり方だとカードを取るSが限られてくる可能性があります。最初は①のやり方で皆で楽しめるようにし、時間がくる間際に②で終了するなどの工夫をしてください。または②を行う場合は少人数の複数のチームに分け、チームを毎回組み替えると良いでしょう。クラスの状況に合わせて行ってください。